

|                  |   |
|------------------|---|
| Title            | 小林澄兄先生略年譜並著作目録  |
| Sub Title        |   |
| Author           |   |
| Publisher        | 三田哲學會   |
| Publication year | 1958  |
| Jtitle           | 哲學 No.34 (1958. 1)  |
| JaLC DOI         |   |
| Abstract         |   |
| Notes            |   |
| Genre            |   |
| URL              | <a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000034--005">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000034--005</a> |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 小林澄兄先生略年譜並著作目録

明治

四四年—大正三年三月普通部教員。

十九年 六月十八日長野県上伊那郡東箕輪村（現在

大正

の箕輪町の一部）に小林頼治三男として生

三年 四月から同六年四月まで教育学研究のため

る。

慶応義塾留学生となり独・英・仏・瑞西に

三二年 郷里の高等小学校卒業。

滞在アメリカを経て帰る。

三四年 早稲田中学校に入学。

六年 四月から大学教授となり文学部において教

三五年 慶応義塾普通部第二学年に転学。

育学および教育学史・教育史の講義を担当

三八年 同部卒業。

して昭和二年九月に至る。

慶応義塾大学予科に進学。

八年—十四年 幼稚舎主任。同十二年から昭和八

四十年 文学科に進学。

年まで普通部主任。

四三年 同科卒業。「慶応義塾学報」（今日の『三田評

十二年—昭和八年 普通部主任。

論』編集事務担当。

十三年—昭和十二年 日本女子大学講師。

大正

十三年—十七年 毎年文部省中等教員検定試験委員

会臨時委員。

至る。

文化女子短期大学講師となり今日に至る。

二八年 上智大学隔年講師となり今日に至る。

欧・米・加の教育視察。

二九年 慶応義塾評議員となり今日に至る。

三十二年早稲田大学講師。

三十年 武蔵工業大学教授となり今日に至る。

国際新教育協会の設立を発起しその会長と

なり今日に至る。

三二年 国際基督教大学講師となる。

昭和

二年 独・英・仏・瑞西の教育視察。

八年—十二年 予科主任兼任。

十年 文学博士の学位記を授与される。

十一年—十九年 日本諸学振興委員会常任委員。

十二年—二十一年九月 文学部長。

十六年 日本教育学会の設立を提案し同志とともに

十七年これを設立し、爾後、昭和二十一年か

ら二六年までの教職追放期間を除き同学会

の理事となり今日に至る。

十七年—二十一年 東京文理科大学講師。

二十一年 アメリカ教育使節団に対する日本側委員。

二六年 自由学園講師となり今日に至る。

二七年 慶応義塾大学名誉教授兼講師となり今日に

黎明期の教育と文化 大正十一年

芸術教育論(大多和顯氏との共著) 十二年

最近教育思潮批判 十二年

続最近教育思潮批判 十三年

著 書

|                      |       |
|----------------------|-------|
| 新教育学の根本問題            | 大正十五年 |
| 欧洲新教育見聞              | 昭和三年  |
| 新教育思潮の研究             | 三年    |
| 最近教育思潮概説             | 九年    |
| 劳作教育思想史              | 九年    |
| 教育革新への途              | 十二年   |
| 国民教育と劳作教育            | 十五年   |
| 国民教育の建設              | 十六年   |
| 国民教育学                | 十六年   |
| 国民学校原論               | 十六年   |
| 福沢論吉（『日本教育先哲叢書』第十七卷） | 十八年   |
| 福沢論吉と新教育             | 二十二年  |
| 劳作教育新論               | 二十三年  |
| 新教育学入門               | 二十三年  |
| 福沢論吉（『銀の鈴文庫』伝記篇）     | 二十四年  |
| 欧米新教育概説              | 二十四年  |
| 教育学序説                | 二十五年  |

教育百科辞典 昭和二十六年

日本の勤労教育の思想史 二十六年

教育学概論 二十七年

生産教育から劳作教育へ  
（『日本教育の再出発』中の一編） 二十七年

最近におけるヨーロッパの教育  
（稲富栄次郎氏との共著） 二十九年

教育原理（『教育学序説』改訂） 二十九年

教育と労働とを結びつけた教育思想の系譜（『国土社教育全書』第二巻中の一編） 三十一年

戦後の中・高等学校の倫理の問題  
（『現代生活倫理講座』第三巻中の一編） 三十二年

ヒューマニズムの系譜  
（『教育とヒューマニズム』中の一編） 三十二年

主要論文

論文名 所載誌 発表年

空想の心理 『三田学会雑誌』 明治四十二年

トルストイ論 『慶応義塾学報』 四十四年

個性の研究 『三田評論』 大正三年

英米に於ける最も自由な学校 『三田評論』 三年

|                     |                  |       |
|---------------------|------------------|-------|
| 教育思想史に於けるカントの位置     | 『三田文学』           | 大正十三年 |
| 現代教育思潮概説            | 『現代思潮講演集』        | 十四年   |
| 教育思想史の問題としての個人と社会   | 『史学』             | 十五年   |
| 労働しつつ学ぶ             | 『成人』             | 昭和二年  |
| フィヒテ及びゴエテの劳作教育思想    | 『川合教授還暦記念論文集』    | 六年    |
| 小西重直氏の教育説の批判        | 『教育』             | 十一年   |
| その我国への影響            | 『日本放送協会近代教育思潮講座』 | 十一年   |
| 勤勞の原理               | 『教学叢書』           | 十六年   |
| 情操の醇化(その一、二、三)      | 『文部時報』           | 十七年   |
| 国民教育の方法に關する根本問題     | 『日本諸学振興委員会研究報告』  | 十七年   |
| 福沢諭吉の教育思想           | 『教育学論集』          | 十九年   |
| アメリカ教育使節団の報告書       | 『教育』             | 二十一年  |
| 民主主義的新日本教育          | 『文部時報』           | 二十一年  |
| 第二の「自由ドイツ青年」        | 『政界往来』           | 二十六年  |
| 土地に根ざす教育(その一、二、三、四) | 『中学技術教育』         | 二十六年  |
| 教師のための社会学(その一、二)    | 『中学技術教育』         | 二十六年  |
| 教育とマス・コミュニケーション     | 『中学技術教育』         | 二十七年  |

|                                     |                |        |
|-------------------------------------|----------------|--------|
| 江戸時代における「純粋教育論」について                 | 『石川謙博士選歴記念論文集』 | 昭和二十七年 |
| 国際新教育会議その他                          | 『学 函』          | 二十八年   |
| 教育の中立性について                          | 『教育学研究』        | 二十九年   |
| カナダの大学を歴訪して(その一、二、三)                | 『三田評論』         | 二十九年   |
| ヨーロッパの教育の現状                         | 『教育研究』         | 二十九年   |
| 西洋人の人情                              | 『人生読本』         | 二十九年   |
| ヒューマニズムと教育との關係について(『教育とヒューマニズム』に再録) | 『哲学』           | 三十一年   |